



平成 19 年 4 月 25 日

各 位

会 社 名 オリエント時計株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 渡邊 淳  
 (コード番号 7764 グリーンシート銘柄)  
 問合せ先 取締役管理部長 河邊 俊二  
 電話 03(3255)1451 (代)

### 新中期計画「Step-2008」見直しについて

当社は平成 18 年 4 月 24 日に 2006 年度を初年度とする新中期 3 ヶ年計画「Step-2008」を公表いたしました。最近の経営環境を考慮のうえ、残り 2 年間(2007 年度から 2008 年度)の計画を見直し、新たに下記の通り策定いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 中期初年度(2006 年度)業績

中期計画初年度にあたる 2006 年度につきましては、情報関連事業において、同業他社の価格攻勢への対応や商品構成の見直しにより大きく売上は減少しましたものの、利益面におきましては、子会社秋田オリエント精密株のコストダウン並びに時計事業における海外営業の利益率向上により概ね当初計画値を達成することができました。

しかしながら、下期だけを捉えますと上期比較で減収減益となり非常に厳しい市場環境となりました。

#### (1) 連結

(単位:百万円未満切捨て)

		2005 年度	2006 年度		
			当初計画値	実績	比較
売上高	時計事業	7,593	8,100	7,886	△213
	情報関連	22,861	13,300	11,919	△1,380
	デバイス	5,464	5,500	5,604	104
	合計	35,919	26,900	25,410	△1,489
経常利益		2,052	720	1,066	346
当期利益		1,717	330	735	405

#### (2) 単体

	2005 年度	2006 年度		
		当初計画値	実績	比較
売上高	33,752	24,600	23,415	△1,184
経常利益	393	200	197	△2
当期利益	938	90	142	52

## 2. 2007年度以降の計画見直し理由

本中期計画では、時計事業における海外市場の売上拡大並びに QCD 向上を戦略の基軸に事業基盤強化を進め、本計画期間内に時計事業をグループ利益のコアに再生することを目指しております。

海外営業は当初掲げた諸施策の遂行を含め予定通り推移いたしておりますが、国内市場ではメカウォッチは堅調に推移するもレディースウォッチを中心に苦戦を強いられており、更に厳しい市場環境が今後も続くものと予測されますことから、時計事業(特に国内営業)を中心に中期計画を見直すことといたしました。

## 3. 中期諸施策の見直し

### (1) 時計事業

時計事業は、将来に亘り安定的に利益創出できる基盤を早期に構築するため、国内営業を再建事業と位置づけ抜本的構造改革に着手すると同時に、新中期計画「Step-2008」で掲げる海外営業の売上拡大を前倒しで推進する。

- 国内営業は、ブランドの整理統合を実施のうえ、メカウォッチを中心とした商品構成並びに営業体制に見直し市場での差別化を推進すると共に、新規流通並びに新規取引先の開拓を進める。

併せて、売上規模に見合った要員体制に見直す。

- 海外営業は、メカウォッチを柱にブランドイメージ強化に努めると共に、中高級品の拡販並びに主要市場への深耕化、新規市場の開拓による売上拡大を強力に推進し、国内構造改革に伴う一時的な欠損をカバーする。
- 香港生産子会社は、材料費高騰の影響から当初想定利益水準には届かないものの、計画的なコストダウンを実施し、安定的利益創出に努める。

### (2) 情報関連事業並びにデバイス事業

情報関連事業並びにデバイス事業につきましては、「Step-2008」策定時の戦略を継承し実行するも、当初想定していた以上にプライスエロージョンが加速していることから、実態にあった計画値に見直す。

## 4. 中期計画値(見直し)

### (1) 連結

(単位:百万円)

		2007年度		2008年度	
		(当初計画)	見直し値	(当初計画)	見直し値
売上高	時計事業	(8,800)	8,050	(9,100)	8,500
	情報関連	(14,100)	12,400	(15,400)	13,300
	デバイス	(6,000)	6,500	(6,300)	6,100
	合計	(28,900)	26,950	(30,800)	27,900
営業利益	時計事業	(510)	160	(590)	390
	情報関連	(480)	370	(520)	580
	デバイス	(200)	180	(200)	150
	未配賦費用	(△150)	△130	(△150)	△130
	合計	(1,040)	580	(1,160)	990
経常利益		(990)	500	(1,100)	880
当期利益		(530)	200	(630)	470

(2) 単体

	2007 年度		2008 年度	
	(当初計画)	見直し値	(当初計画)	見直し値
売上高	(26,300)	24,800	(28,100)	25,800
経常利益	(340)	60	(360)	220
当期利益	(220)	0	(230)	130

注:上記中期業績目標の前提条件とした為替レートは1米ドル114円であります。

5. 資本政策

前記の通り、当初計画と比較し損益数値は下方修正となりますことから、本中期計画の状況を慎重に見極めたうえで、単体の累損解消を検討してまいります。

尚、本資料に記載されております将来の業績見込みにつきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の環境変化等の要因により、異なる結果となり得る場合がありますことをご承知おき下さい。

以 上